

5/21

地方創生推進で連携を強化



㈱荘内銀行と本市は、人口減少を抑制し地方創生を実現するため包括連携協定を締結しました。両者はそれぞれが保有する資源・情報などを有効に活用し、地域産業や観光の振興、本市関係人口の創出など、地方創生の推進や市民サービスの向上に向けて連携を図ります。

5/30

地域を知るフィールドワーク



市立酒田看護専門学校1年生が、地域・在宅看護論の授業の一環として今年度から導入された「地域探索実習」を行いました。学生たちは街歩きをしながら旧町名の保存標柱を見つけるなど、その由緒・由来を探索し、日々を過ごす街に対する愛着や地域・環境への関心を高めました。

6/5

みんなで優しく育てるぞ！



浜田小学校の3年生、4年生がペチュニアの花を植える「人権の花」運動に取り組みました。酒田人権擁護委員協議会の方々から花の植え方や花言葉を聞いた後、みんなで優しく花苗を植え、命を大切に、ありがたい気持ちを込めて、丁寧にお世話していくことを約束しました。

6/5

自宅を拠点に新たな取り組みを



地域おこし協力隊員として、日向地区に浅井ひろ恵さんが着任しました。本市出身の浅井さんは、これからの協力隊活動を通して、自宅を利用したカフェの営業や、綿や麻を使ったアパレル商品の製造などを行いたいと目標を語ってくれました。

6/5

さらなる官民連携を目指して



戸田建設㈱と本市は地域創生に関する包括連携協定を締結しました。同社は旧かんぼの宿をリノベーションし、リゾート型ホテルの開業を予定しています。また本協定に基づき、同施設を拠点とし、本市全域を対象とした1次産業から3次産業に至る幅広い分野での連携が期待されています。

6/7

大きくなって帰ってきてね！



日向川で鳥海小学校の3年生が日向荒瀬漁協の皆さんと一緒にサクラマス放流を行いました。快晴の空の下、正面に鳥海山を望む絶好のロケーションの中、参加した子どもたちは約1,600尾のサクラマスをバケツから川へ丁寧に放流し、元気に泳いでいく稚魚たちの姿を見送りました。